

三河営業所転居

6月15日に無事竣工し、20日に引越し完了しました。また、心機一転、三河地区から遠州方面にかけて、法人事業の営業を頑張っていきます。



株主総会

6月16日、例年通り名古屋市にあるガスビルの会議室を借りて、株主総会が行われました。事業報告が、パワーポイントとナレーションも利用して行われ、その後株主様から、活発な質問が出されました。質問の主な内容と回答は、以下の通りです。

【質問①】「中川区に本社を転居されるが、地震での津波被害も含めて水害の心配は、大丈夫ですか？水害で事業がストップするようなことはないですか？」

【回答①】「中川区といってもささしまライブの近くで、ハザードマップも調べて土地の購入をしており、それほど心配のいらぬ地区で、現在の本社のある北区も矢田川から近く、現在の本社と水害の恐れという点で変わりはありません。おっしゃられるように、名古屋でも地盤の良いところはあるのですが、業務上大型車両での搬入があること、倉庫や駐車場等で広い土地が必要であること、また社員の通勤の利便性など、総合的な判断で中川区の場所を選びました。」

【質問②】「総会の開催を、いつも土曜日の午前中に行っているのは、私としては出席できてありがたいと思っているが、何か意図がありますか？」

【回答②】「当社としても、株主様が出席しやすい時期にしようとして土曜日の午前中に行っております。また、この方が良いとかいう意見があれば、言って下されば、検討させていただきます。」

【質問③】「本社を中川区に転居されたら、総会を新しい本社でされたらどうですか？経費節減になると思うので。」

【回答③】「実は、新しい本社にも、あまり

大きな会議室を設けておりません。この会場のような広さを必要とする大勢が集まる会議を開催するという頻度があまりなく、そうした会議室を設けても普段は使わず空いた状態になってしまうので、必要な時に会議室を借りた方が経済的という考え方をしております。株主様にも是非お気軽に、新しい本社に来て下さればと思いますが、今後も総会は、会議室を借りて行いたいと考えています。」

【質問④】「役員の数、4名になるが、少なくないか？」

【回答④】「おっしゃられる意味は、よくわかります。当社も会社のガバナンスについては検討しており、社外の取締役も含め、増員していくことは会社の成長とともに必要な事と認識しております。社内の若い社員も成長しており、会社の成長に大変貢献しており、今後、会社をより牽引していく役割になっていくことと思います。ただ、今期に関しては、現在の社外の監査役も含めた体制で機能としては、問題なく回っていますので、ご理解下さいますようよろしくお願いします。」

【質問⑤】「社長さんは、知名度もあげて、社員を増やし、直接受注も増やしていくと言っているが、誰もNITTOHなど知らないし、そのためには東証2部にもっていく方が良いのではないですか。その方が株価も上がるし、株主としてはありがたい。そういうお考えはないのですか？」

【回答⑤】「当社としては、しっかり実力を高めて、業績を伸ばしていきたい、今できることに邁進していき、東証と名証では、上場基準の違いもありますので、いずれにせよ、より業績を伸ばしていくことが必要であります。より良い会社になるように、社員一同努力をしていきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。」

そして、議案は、原案どおり承認可決されました。

ガラスクリーニングコンテスト

2年に一度開催されるガラスクリーニングコンテストの予選会に、東京と名古屋で参加し、ビルワークの社員が大活躍をしました。東京では、男子部門と女子部門の両方で優勝し、全国大会出場権が12名に与えられるのですが、なんとその内7名をビルワークの社員が占めました。名古屋の大会では、毎回、ビルワーク社員が上位を独占しているのですが、今回も実力通りで、1位、2位をビルワークの社員が占めました。そして、全国大会出場権6名のうち、3名をビルワーク社員が占めました。今年の全国大会は、10月6日(土)、富山市のグランドプラザで開催されます。



右:男子優勝
佐野選手
中:女子優勝
松橋選手
左:第3位
大本選手



河村市長と記念撮影する優勝の下之角選手(左)

本社移転を単なる引越しにしない。

新本社建設工事が着工し、6月で杭打ち作業が終わりました。大阪事業部、三河営業所など社屋への設備投資が続きましたが、この本社の転居で一段落です。ただ、本社移転を単なる引越しではなく、NITTOH グループのイメージを発信できるようなものにしたいですね。創業50年が近くなってきましたが、過去に縛られることなく、常に柔軟な発想で、前だけを見て、明るく若さを全面に出したオフィスにしていきたいものです。もちろん、今まで頑張ってきた人たちがいるからこうして新しい社屋を建設できるわけで、多くの方に感謝の気持ちをもたなくてはいいませんが、今までも時代時代で、合理的な思想で革新を続けてきた結果が今日であり、先輩たちが望んでいることも、いつまでも若々しく、変化を続け、挑戦し続けることだと思います。



北陸の高層ビル現場

金沢市内でタワークレーンのたつ新築高層ビルの屋上塩防水工事を行いました。



施工事例紹介

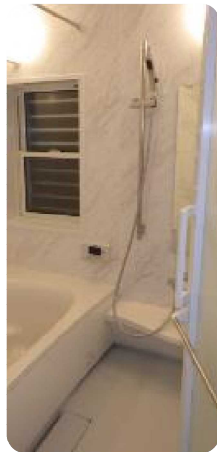
- 施工場所 兵庫県西宮市
- 構造 木造2階建
- 工事名 納戸解体ユニットバス・洗面室改修工事



1F納戸 施工前



洗面室 改装後

ユニットバス
設置後

■担当 阪神営業所 中井 真生

水廻りの工事では、在来の浴室からユニットバスへの改装工事、もしくはユニットバスからユニットバスへの改装工事が一般的ですが、今回紹介させていただく工事は、2階にあった浴室および洗面室を、1階の納戸部分に移した改装工事です。もともと1階の納戸部分には、ユニットバス・洗面室に必要な給排水や電気は無く、新たに配管・配線をする工事、外壁部分にも必要な窓を新たに設置する工事が必要となりました。そこにユニットバスを設置し、洗面室を仕上げで完成となりました。1階・2階と水廻りが別々にあるお家では、水廻りの動線を良くするため、ワンフロアにまとめる有効なリフォームだと言えます。

ちょっと一言

「睡眠」



住宅メンテナンス事業部
岐阜営業所
渡辺 志津江

みなさま、お疲れ様です。

まだ朝方の冷え込みはありますが、もうすぐ夏本番です。そして2年後には東京オリンピックです。何もこんなに暑い時期に開催しなくても…と思いますが、色々な事情があるようですね。屋外競技の選手は大変だなと思います。

日本の夏は暑さもさることながら湿度も厄介です。寝苦しい夜が続くと、眠りも浅く疲れが取れません。

みなさん、「睡眠負債」という言葉をご存知でしょうか。最近色々なところで取り上げられています。毎日の睡眠不足が負債のように蓄積されていく状態のことで、脳や体の働きが低下し、病気のリスクが高まる可能性があるそうです。6時間睡眠を1週間続けると1晩徹夜、2週間続けると2晩連続で徹夜したのと同じような脳の状態になるというデータもあります。残念ながら「寝だめ」では睡眠負債を返済できず、寝だめをすることで体内時計がズレ、逆に睡眠の質を下げってしまうそうです。体質や生活習慣などもあり最適な睡眠時間には個人差があると思いますが、朝起きたらカーテンを開けて日光を浴びる、夜はカフェイン入りの飲み物を飲まない、就寝直前のパソコンやスマートフォンの使用を控えるなど、ちょっとしたことを習慣にして睡眠の質を向上させましょう。就寝中の熱中症にも注意が必要です。エアコンを上手く使って、水分補給も忘れずに。

睡眠負債を解消して、気分爽快で脳の働きも良くなれば、仕事にも集中できて高いレベルで取り組みそうです。体調を整え、暑い夏を無事に乗り切りましょう。

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

- ★岐阜営業所 國田さん
 - ★法人建設課 大島さん
 - ★法人建設課 林さん
- しろあり防除施工士

入社社員紹介

- ★渡邊 好啓 法人事業部 法人建設課 45歳
- 趣味:野球・筋トレ(最近始めました)
- 「新人という歳ではありませんが、おじさんパワーで一生懸命頑張ります。」



会社合同説明会(大学生等)に参加しました。



取材を受ける2位BW大洲選手